

いつもありがとうございます。

W35 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・秋商材への準備 風土の特裁 洗い里芋



お盆を明けたら洗い里芋に切り替えです。

イモ類の中でも、里芋は私にとって特殊な芋に思っています。

食べ物にも陰陽のチカラが働いていますが、親芋を中心に周囲に子芋が出来、その回りに孫芋が生まれます。

中心の親芋が陽性で、孫芋に向かって陰性になっていきます。

二十歳過ぎの時に今で言うマクロビオティックと出会い、里芋は身体の毒を吸い出す魔法のチカラがあると教えられました。

正確には毒を外部に出すだけでなく、捻挫の時に出る熱も、摩り下ろした里芋をガーゼに包んで患部に貼ると、

上手く熱を取ってくれて、治りが早いそうです。

感心させられるのは、ひとつの里芋の根の出し方です。

根の先端を守る為、表皮に周回するように毛が出ていますが、その毛に守られ内側から根を出すという戦略を持っています。

生命力だけではなく、知恵を持っている野菜のように感じています。

里芋は水分を多く必要としますが、葉っぱの形状はロート状にして広く広げた葉の上以降る雨を、

集めて自分の株元落とすように出来上がっています。

食べても栄養も味もあるのですが、何だかそんな知恵を授かりそうな気がします。

・兵庫県産 特別栽培にんにく 金網純白



売れ筋というのは、いつも意外なところにあります。

にんにくと言えば「ホワイト六片」しか売れない、
とってきました。

画像のお二人にも、ホワイト六片を、
特別栽培にして頂けるようお願いをして来ましたが、
『金網純白』が先に特別栽培になりました。
取り扱い開始 3 期目で実りました。

ところが、この金郷純白が年を追うごとに売れ始め、
ホワイト六片である必要がないと思い始めました。
ホワイト六片が売れていない訳では無いのです。
ホワイト六片は、一片が大きい事に気づきました。
私は料理に、にんにくを多用しますので、大きいとは思わなかったのですが、
一般家庭では、そんなに大きくない方が使い切りサイズで良いのではないかと思い、
その事を理由にホワイト六片との併売を提案してきました。
価格もホワイト六片よりひとサイズ分安く、L サイズで 198 円売りが出来る事も手伝ってか、
すっかり売れ筋商品に育ちました。
青果売り場でのホワイト六片を含む、にんにくの伸び額は取材をお願いしていませんので把握していませんが、
併売して頂いている売り場では、当然増えている筈です。
私の血液型は O 形で人一倍思い込みが強い性格ですが、「もしかしたら」と新しい Want
の開発に同じ強さで興味を持つことが、
前向きで良いのかも知れないと思い始めています。
この事は、ごぼうに於いても然りで、『柔らかか太ごぼう』も新しい Want の開発に成功した一例です。

・高知県 四万十源流生姜



少し前の涼しかった夏を思い出せません。

今では最低気温でさえも 30℃を超える日があり、
苦手でほとんど点けない冷房を点け始めました。

暑いと食べたくなるものに生姜がありますよね。

少し前の涼しかった時期と先週とを取扱量を比較してみ
たところ、110%を超えていました。

やはり需要が増えていました。

画像は **Alphar's Kitchen** にアップしている生姜オムレツです。

数年前から薬味だけではなく、沢山食べるべきだ！と、考え提案してきました。

Alphar's Kitchen には数種類のレシピをアップしてあります。

薬味としてではなく、一つの献立として提案しても楽しそうです。(有安海)

<https://cookpad.com/recipe/4442957>

・北海道産特別栽培メマンペツ人参



今年はどここの土地でも野菜に厳しい天気が続いています。

北海道も例外ではなく、エゾ梅雨から始まり嵐が来たり、本州と同じくらいの最高気温になったりと散々な天気になっています。

案内したものの供給が安定せずに本当に申し訳ございません。

今回案内いたしました、すでに代替で納品させて頂いています

メマンペツ人参が一応新登場となります。

女満別の由来がアイヌ語メマンペツで、『泉地がある川』という意味だそうです。

今週から新登場でのご案内です。

宜しくお願い致します。(吉田麻衣)

・終了商品案内

徳島県産佐々木さんの梨(幸水)36-40 玉

徳島県産佐々木さんの梨(豊水)36-40 玉

岡山県産窪津さんの桃

兵庫県淡路島産夏のサラダちゃん

兵庫県淡路島産有機玉ねぎ

長野県産恋するマロン南瓜 4-7 玉

・在庫販売案内

長野県産恋するマロン南瓜 3 玉

徳島県産佐々木さんの梨(幸水)28-32 玉

徳島県産佐々木さんの梨(豊水)28-32 玉

兵庫県淡路島産伊吹さんの新タマネギ L サイズ

・お盆休みを頂きました

『働き方改革』などと言う、何を意図しているのか不明な政府主導のムードに誘われている訳ではありません。

事務仕事を中心にしている本社はカレンダー通り、GW もお盆・正月休みも頂くのに、同じ就業規則で働いているにもかかわらず、出荷業務を中心にしている青果ターミナルは日曜日以外は出勤してきました。

いくら休日出勤手当でカバーすると言っても、それより昨今では『連休』なるものが価値があるので、

誠に勝手ながら、4 日間の出荷日休日を頂きました。

スーパーマーケットさんに対して出荷業務をする形態になってからは初めての事でした。

休みに入る前日の出荷量は、想像を超えて沢山頂戴し、誠にありがとうございました。

生協さんや、宅配業者さんを中心に、冷凍真空パックの牛肉・豚肉・鶏肉や冷凍総菜を中心とした業務をしている創業当初は、

お客さんのみなさんも一週間丸ごと休まれたりしていましたので、私共も、9 連休などと休みの多さが自慢の会社でした。

今から考えれば随分贅沢な話しに思えますが、そういう意味では日本も豊かな時代があったのかと思います。

少し複雑ですが、今回のコロナ騒動で何が変わるかと言えば、世の中は『 質実剛健 』と
いうか、

『 浮かれてんじゃないよ 』という、地に足付けた暮らしの方向に進むような気がします。
そのように考えると、今の各地方自治体の首長たちが深く考える事より『 自粛 』を求める
ような政治的なパフォーマンスは、

騒動の意味と逆行しているような気がしているのですが、如何なものでしょうか。

人と共に食事をするとか、果ては家族すら別々に食事をしろとか、飛沫感染一辺倒の考
え方を振り返ろうとしない、

現実を無視した権力維持は、そろそろ化けの皮が剥がれて来そうな気がします。

もし、飛沫感染がそこまで強ければ、この程度の感染拡大では済まないと素人の私でも想
像つくのですが……

私自身は、飛沫感染もゼロではないと思いますが、それより接触感染で人から物、物から人
への感染を中心に対策をしています。

新型コロナの身体へのダメージの強さが如何ほどであるかは別にして、

実体経済が全体の4%に過ぎないような、金融主体の経済が行き詰まり、

『 本物の時代 』と言われる、働いて物を生産して経済を回し、人と人とが信頼出来、互
いに支えあう紐づいた暮らしを目指しています。

この7月8月は、沢山御注文を頂いたにもかかわらず、全体の1割近くに達するまで欠品
を出してしまいました。

天候が不順な時こそ、しっかりした栽培を目指す私たちが付き合う農家さんの本領発揮する
場面ですが、

それでも想像を絶する御注文にこたえきることが叶いませんでした。

もう一度仕入構造を見直し、3割程度の超過分を見越した量の作付けをし、その量の計
画的な営業提案の实地をスタートさせています。

余剰となった場合の販売を解決できる構造も同時に模索中です。

生産現場と直接の農産物調達とは、メリットばかりではありません。

農産物は工場生産品と違い、丁度良いということは無く、必ず量は多いか少ないか、そのどちらかに偏ります。

そのように考えれば、私たちのような卸会社はそのクッションになり、量を調整する機能を持つことが必要だと考えています。

それでは、今週も御注文の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎